

北海道ミライづくりフォーラム 2023
【教育ICTフォーラム 実践発表】

地域の力を結集
～十勝ICT推進プロジェクト～

北海道帯広柏葉高等学校長

須藤克志

■帯広柏葉高校

令和5年度 創立全日制100周年・定時制70周年

全日制6間口・定時制

【教職員数】

全日制49名・定時制8名・事務5名

【生徒数】

全日制711名・定時制41名



卒業生

中島みゆき、ドリカム吉田美和、安住紳一郎 等

地域の中心校として家庭や地域の期待と信頼に応える学校

【育てたい生徒像】

次代を担うグローバルリーダーとして、新たな社会的な価値の創造と発展に貢献できる生徒

【スクールポリシー～柏葉5つの力～】

探究力 創造的思考力 問題解決力 主体的行動力 協同力

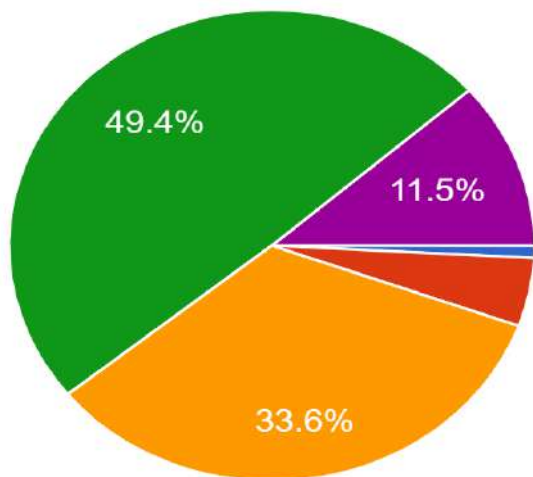
本校のミッション

- ① 地域連携・・・キャリア教育・国際交流
- ② ICT推進・・・授業改善・業務改善
- ③ 探求活動・・・総合的な探究の時間

授業におけるICT活用について【生徒アンケート】

あなたの端末を使用している授業の割合

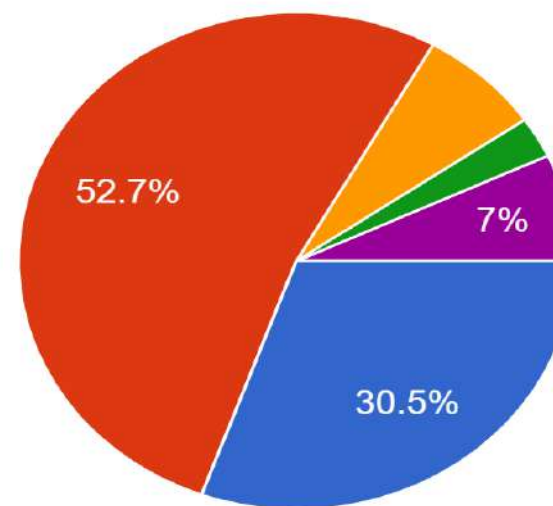
488 件の回答



- (ほとんど (8割程度かそれ以上))
- 5割以上 8割未満
- 3割以上 5割未満
- 3割未満
- 全く使用していない

端末を活用することにより、自分の学習にとってメリットを感じていますか。

488 件の回答



- メリットがある
- どちらかといえばメリットがある
- どちらかといえばメリットがない
- メリットがない
- そもそも端末を授業で全く使用していない

生徒の声

○端末を活用したほうが適切なものと、手書きのほうが適切なものがあるので、その区分をしっかりとしてほしいです。

○先生方が情報端末に明るくないのは重々承知しておりますが、保守的にならずに新しい試みをしていただけたら刺激的でうれしいです。

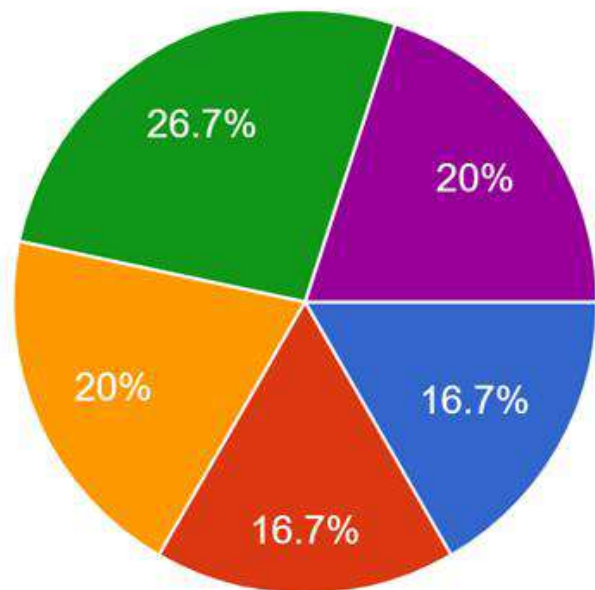
○もっと積極的に端末を利用したいです

○受験生なのに授業時間をグループワークやディベートなどに多く割かれてしまっていることに不満がある。

授業におけるICT活用について【教員アンケート】

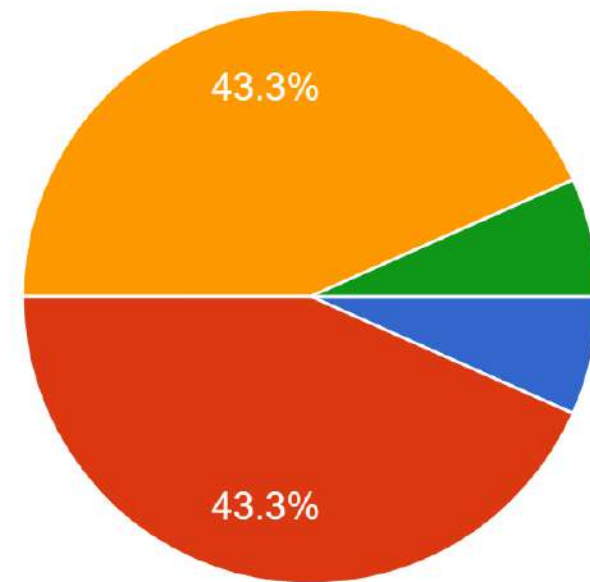
授業での端末活用頻度について
30件の回答

- 全て
- ほとんど（8割程度）
- 半分程度
- 3分の1程度
- 使用していない

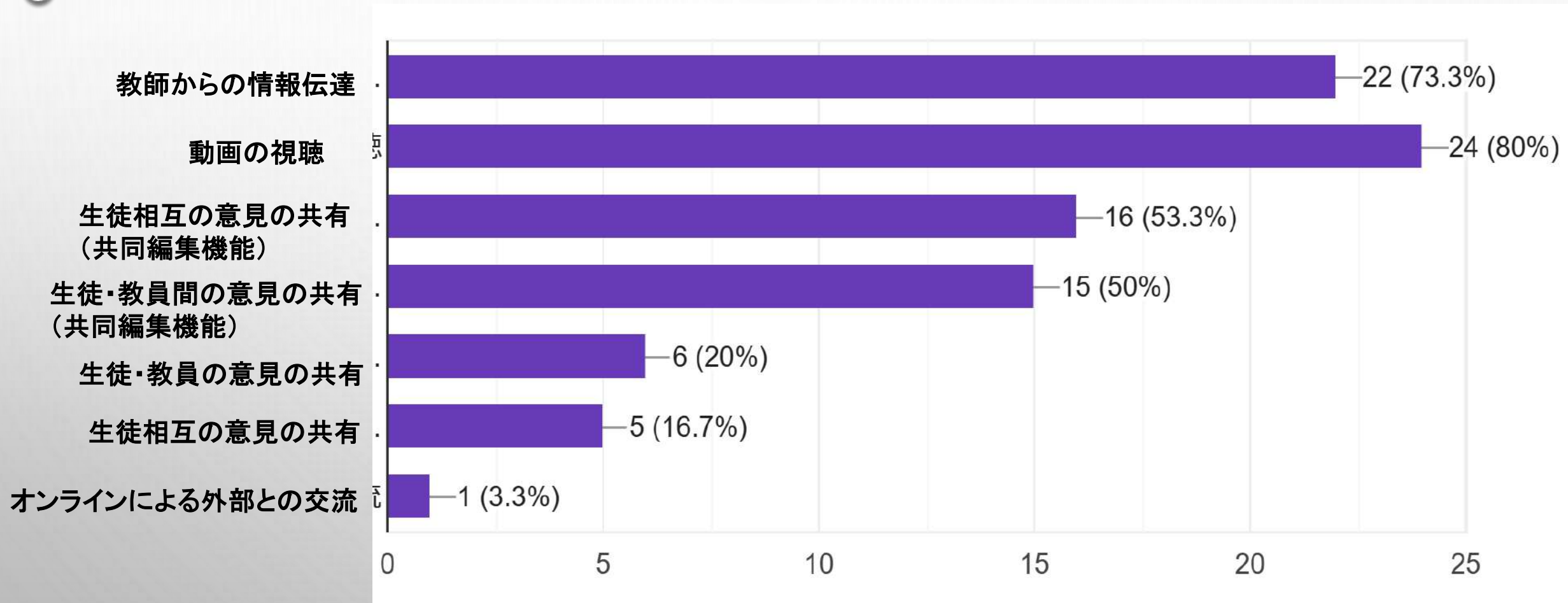


端末操作について、状況を教えてください。
30件の回答

- 得意である
- どちらかといえば得意である
- どちらかといえば苦手である
- 苦手である



授業において、生徒の端末をどのように活用すると...考えますか。



教員意見(課題)

- 何らかの形で利用したいとは思いますが、時間も技能もない。詳しい人に相談したくても、その人が大変だから、どうしても遠慮しがちになる。
- 自分の操作スキルがないので、活用がなく、その向上が全て。ICTの効果は私に見えない(=実感できない)のはその点に起因するだろう。
- まずは、使い方を学ぶ時間を捻出することが難しいように感じます。空き時間も含めて、すべての自分の活動をあえてICT寄りにするくらいの覚悟で取り組んでやっとできることが増えてきます。すでにやることが多くあり拘束時間も変わらず長い状態では難しいです。
- ICT活用は、あくまでも生徒が学ぶべき内容を理解するための補助手段の一つであり、ICT活用のための授業であってはならないと思います。

見えた学校の課題

ICT授業に対する教員間の意識の差が大きい。

ICT活用の実践例を学びたい声



地域とのつながりで学ぶ機会を作る！

そこで
地域全体でのICTの底上げを図れないか
十勝管内をICT授業の先進地域する！



十勝教育局へ相談 十勝校長会に提案
教頭会からの意見、校内での理解(情報図書部が承諾)
.....

令和4年度
「十勝ICT推進プロジェクト」がスタート
(十勝校長会・十勝教育局主催)

十勝 I C T 推進プロジェクト

地域の力を結集する！



■目的

- (1) 十勝管内全体でICTの授業研究に取り組み、「誰でも出来るICT授業」を目標とし生徒の学力向上を図る
～「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
- (2) ICTを活用し業務改善を図り、働き方改革に資する

■主管

北海道高等学校長協会十勝支部、十勝教育局

北海道 ^{と か ち} 十勝



十勝管内
高等学校 道立 17校
市立 1校
町立 1校
私立 3校

利点
帯広市を中心として近い距離



学校間の連携が出来やすい

十勝ICT推進プロジェクト

◆内容

①「十勝ICTサミット」の実施

※管内全体での研修会

本校「情報図書部」が企画・運営

②十勝ICT推進委員の選定

※各校からICT委員の推進（力の結集）

③十勝管内教科研修における研究

TOKACHI ICT推進 プロジェクト

ICTを活用することによってより多くの価値を生み出すであろう未来に子供たちを送り出すために、教育が、学校DXを推進します。
そして、十勝管内における教育の継承と発展を、充実しつつあるICT環境を活用して進めています。
その取り組みの成果を、オンラインで、全道、全国、世界へと発信していくことを目指しています。

実施内容

- (1) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
- (2) インターネット上の学習教材の活用、外部専門家によるオンライン授業の実施
- (3) 新たな日常的な持ち運びによる学習環境の充実等
- (4) 授業の協働的な学習化や対面的・協働的な授業企画・校内研修
- (5) 実践内容を動画・写真、研修のオンライン公開などにより地域内外に普及

十勝ICT推進委員会

十勝の各高等学校から選出されたICT推進委員が中心となって、各校において校務、教務におけるICT活用を推進します。月1回開催の会議を開催し、関係内容を共有し、管内全体の学校・教育DX化を推進していきます。オンラインを活用し、資料の共有、移動、集約の負担を軽減します。

ICT研修会の充実

オンラインで各校の研修情報を共有し、いつでもどこでも学ぶ場を作ります。講座を見るだけでなく、一方でわかりにくいことでも、その場で疑問に質問したり、意見を交流したりすることで、より深く理解を深めることができる場を創出し、各校でそれぞれに学習しやすい体制を構築します。

先進校視察

管内外の先進的な取り組みをしている学校の事例を共有し、可視であれば実際にそこを訪れ、情報を共有します。

十勝ICTサミット（11月・2月）

中高特別用コンソーシアムの一環を担い、研修を行ったり、各カテゴリに期待することを共有したりします。情報共有だけでなく、積極的な相互支援体制の構築も目指しています。

HP上での実践交流・紹介

「十勝ICT推進プロジェクト」のHPを立ち上げ、随時活動紹介、実践紹介を行っています。興味ある実践については気軽に問合せ、授業交流、情報交換するためのプラットフォームとして活用されることを目指します。

<http://>



HPはこちらから。

(文科省)リーディングDXスクール事業 指定

【事業指定校】
北海道帯広柏葉高等学校

【事業協力校】
十勝管内高等学校

- ① 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
- ② インターネット上の動画教材の活用、外部専門家によるオンライン授業の実施
- ③ 端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実等
- ④ 校務の徹底的な効率化や対話的・協働的な職員会議・教員研修
- ⑤ 実践内容を動画・写真、研修のオンライン公開などにより地域内外に普及

取組内容

それぞれの管内及び学校で指定校の取組を共有

十勝ICT推進委員会

→ 各高校から令和4年度21名選出
令和5年度39名選出



事務局 北海道帯広柏葉高等学校

◆顧問 帯広柏葉高等学校長

◆担当 帯広柏葉高校 情報図書部

◆十勝教育局 高等学校指導班指導主事

月1回の会議（ハイブリッド方式）
※活動方針の検討

令和5年度 十勝ICT推進委員会

活動方針

- (1) 各校で目標設定をしよう
- (2) ICT研修会の充実を図る
- (3) 縦横での連携を図る(小・中)



具体的方策

- (1) 十勝ICTサミットの内容検討
- (2) 各校の実践事例の紹介
- (3) 各校での研修会の推進
- (4) 目標設定の共有
- (5) アンケートのお願い

令和4年度 十勝ICTサミット

日時 令和4年11月24日(木)
13:30~14:30

場所 北海道帯広柏葉高等学校 多目的室
(ハイブリッド方式)

参加者 十勝管内高等学校教諭
対面参加60名・ZOOM参加18名



講演 「ICT活用による学びの質の向上 ～学びのツールとしての1人1台端末活用～」

講師 北海道教育庁ICT教育推進局
ICT教育推進課指導主事 福士 公一郎 様



**実践事例は校内にある
（福士先生より）**

● 十勝ICTサミットを終えて(アンケート)一部

- 福士先生のわかりやすい説明資料でイメージが鮮明に湧き、とてもためになった。まずはチャレンジ！というのが今の状況かな、と認識いたしました。
- 本日出席していない、興味のない、苦手な方へのアプローチの仕方をみなさんで考えていきたいです。
- わかりやすく、今何を考えるべきかを伝えていただきました！
- GIGAスクール構想の方向性を再確認できました。ありがとうございました。
- ICT活用により学びが向上するという実感がもてたので、少しずつ実践していきたいと感じた。

そして 舞台は十勝管内全体に・・・



「管内コンソーシアム協議会」発足
【小学校・中学校・高等学校・特別支援学校】

異校種との交流で更にICT
を推進する

合同研修会の実施・学校視察 等

令和5年度 第1回 十勝ICTサミット

主催 北海道高等学校協会 十勝支部 十勝教育局

十勝管内コンソーシアムとの合同研修会
【小学校・中学校・特別支援学校】

テーマ

授業における効果的な1人1台端末の活用について
～学校種を超えたICT連携のあり方について～

日時 令和5年11月21日(火)

場所 北海道帯広柏葉高等学校

内容 ①基調講演 ②実践発表
③研究協議



令和5年度
兼 ICT管内コンソーシアム協議会
第1回十勝ICTサミット

授業における効果的な1人1台端末の活用について
～学校種を超えたICT連携のあり方について～

主催 北海道高等学校協会十勝支部・十勝教育局
会場 北海道帯広柏葉高等学校 券

■講演
公立千歳科学技術大学 理工学部
教授 小松川 浩 氏
(文部科学省学校DX戦略アドバイザー)

■実践発表
・北海道帯広柏葉高等学校リーディング
DXスクール事業の取組について
・管内小学校、中学校、高等学校、特別
支援学校における1人1台端末を活用した
事業実践の取組について

■研究協議
「授業における効果的な1人1台端末の活用について」

2023/11/21 tue.
13:00 - 16:15

帯広柏葉高校の取組み・・・目標の明確化

柏葉DX

校務DX
〈目標〉
時間削減
経費削減

※各分掌から
意見集約

授業DX
〈目標〉
1 教師が情報提示をする
2 生徒が情報を調べる
3 生徒が情報を（主に生徒間で）共有する

※単元に1度使用する

紙でもデジタルでも
できることは
デジタルで

柏葉DX
Digital Transformation

☆☆☆

浮いた時間を、他に使う
浮いたお金を、他に使う
個別最適な学びと協働的な学び



校務DX

目的は・・・業務の効率化（働き方改革、時間の節約→他に回せる）

- ①経費（紙代）の削減 → もっと必要な物品にお金を回せる
とはいえ、紙にしかできないこともあるかもしれない、それはそれでよし
- ②視点として・・・ネックになる理由があるなら、それを解決する方法を考える

★先生方からのアイデアを広く集めます。（どの分掌に関連する業務が振り分ける）
それをもとに、各分掌で検討していきましょう。
検討会を開きます（分掌部長、関係者+山崎、戸川）

「今年度ですべてを」でなく、年度末になって1つでも2つでも変わってほしいよ！

校務DXのアイデア出しPadlet

授業DX

「生徒自身が端末を使う授業」

ICT活用のポイント

- 1 教師が情報提示をする
- 2 生徒が情報を調べる
- 3 生徒が情報を（主に生徒間で）共有する
- 4 リアルタイムに（教師-生徒間で）双方向にやり取りをする
- 5 オンラインで外部とつながる

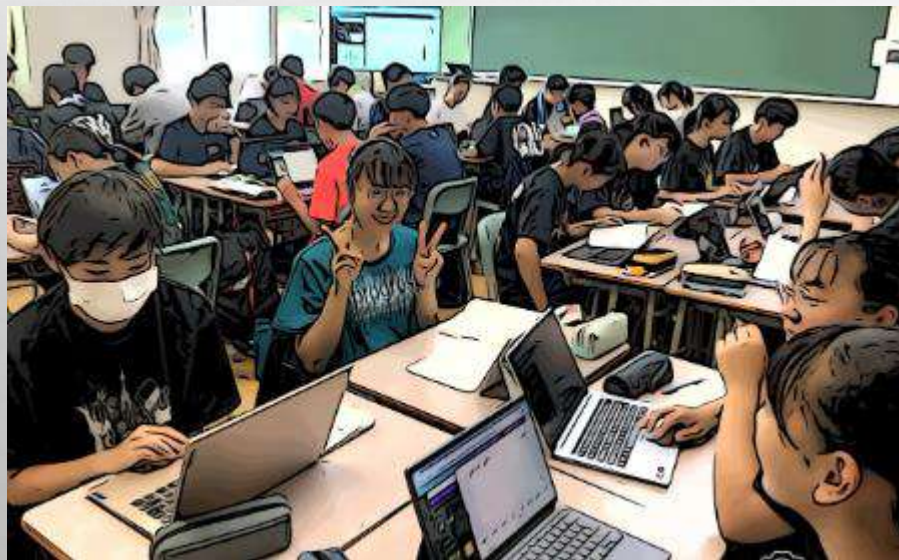
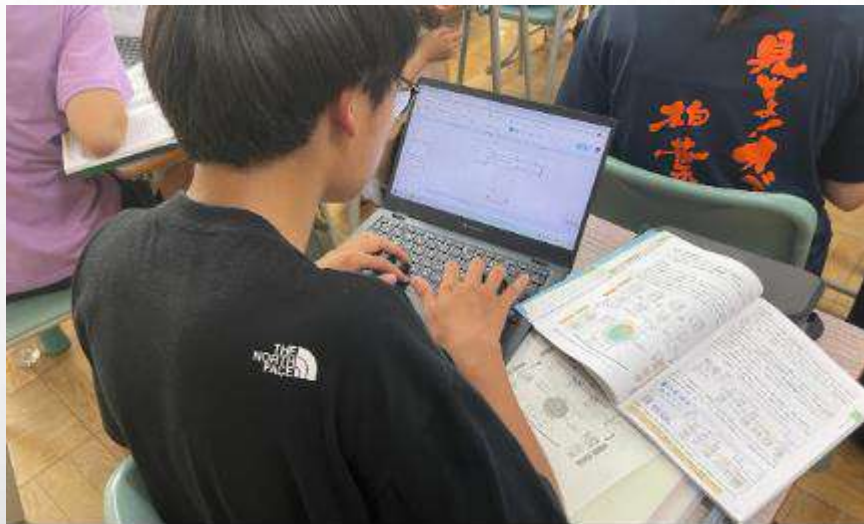
今年度は全体の到達目標としては3を目指しませんか？
毎時間だけでなく、単元に1回程度やとりあえず1回やってみるでOK

本校の実践事例共有サイト

日々の実践を共有することで、新たな活用法や
これからやってみようという先生へのヒントにつ
ながります。

現在は、山崎、戸川中心に取材をし掲載してい
ますが、写真と用いた單元、アプリ、コメントを
いっただけならば、アップします。
「試しにやってみよう」ということでも良い事例
になると思います。

授業実践の紹介(HP)



校内研修



実施日：9月6日（水）

①基調講演

「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善とICT活用」

講演：北海道教育庁ICT教育推進局

②実践演習

校務DX、Padletの紹介と
操作演習、生成AI体験



帯広柏葉高等学校 情報図書部 PRESENTS 聞くだけでなくやってみる

ICT放課後 研修会

GoogleMeetとClassroomでオンライン授業を行うために
必要な基本技術の練習をしましょう

1周目

- 5月 2日火 第1回 Classroomを作成、生徒を招待し、課題やプリントを配信する
- 5月 9日火 第2回 ドキュメント、Jamboardを共同編集する（またはしないで配信する）
- 5月16日火 第3回 Google Meetで授業をすると生徒にはどう見えているのか？
～「黒板や教室を映す」から「画面共有で資料を映す」へ～
- 5月24日水 第4回 GoogleFormでアンケート、小テストを実施する
- 5月31日水 第5回 実施した小テストを集計する（スプレッドシートの関数を用いた集計）

16:00～16:30 途中参加、途中退室可

※学校行事の関係などで変更する場合があります。



場所：帯広柏葉高等学校内 空いている教室
もしくは上のQRコードよりGOOGLEFORMに回答。
参加承認後、送られてくるGOOGLEMEETより参加可能

途中から参加しても困ることの少ない、一回完結型の研修です。

オンラインの方は、表示用端末と操作用端末をご用意なさることをお勧めします。

内容に興味をお持ちの方で、都合がつく方、無理をしないでご参加ください

多くの方にとって参加していただきやすいように、同じ内容を年度内に周回します。

周回ごとに固定する曜日を変更して行きます。ニーズに合わせて違うテーマを設定したいと思っています。

帯広柏葉高校 ICT放課後研修会 (情報図書部)

管内高等学校へ案内 希望者へ配信



**本校での変化・・・苦手意識がなくなってきた
(徐々ではありますが・・・)**

- 各種アンケートの利用の増加**
- 朝の欠席連絡**
- 各種連絡・打合せ事項の短縮化**
- 授業での活用する教員の増加**

※「ICT」を活用する若い人材が増えた(人事異動)

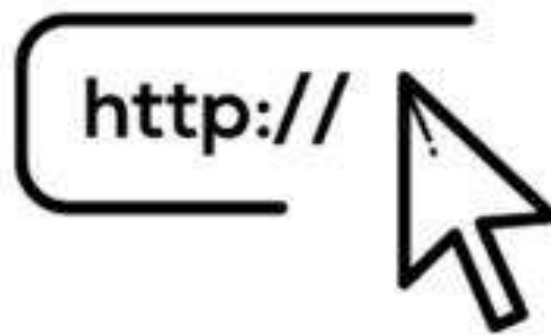
TOKACHI ICT推進 プロジェクト

ICTを活用することによってより多くの価値を生み出すであろう未来に子供たちを送り出すために、教育DX、学校DXを推進します。

そして、十勝管内における教育の縦系と横系を、充実しつつあるICT環境を活用して通していきます。その取り組みの成果を、オンラインで、全道、全国、世界へと発信していくことを目指しています。



HP



HPはこちらから。



これから……「**教員が自ら学ぶ**」意識の向上

- 1 各研修の充実
- 2 十勝管内 小学校・中学校との連携強化
- 3 ICT推進委員会の自発的活動促進

管理職として
学ぶ環境づくり
持続する組織体制づくり

**「リーディングDXスクール事業」と連携し、
十勝管内では今後更に活動を推進します**

ご静聴ありがとうございました。